

露光部(非粘膜型/非末端黒子型)メラノーマにおけるニボルマブ+イピリムマブ併用療法の一治療と抗 PD-1 抗体単剤療法の一治療 (無効後ニボルマブ+イピリムマブを含む) の効果に関する多施設共同後ろ向き研究

1. 研究の対象

根治切除不能または転移性悪性黒色腫を有し、当院において 2014 年 7 月 1 日から 2021 年 7 月 31 日までに一治療としてニボルマブ+イピリムマブ併用療法、あるいは抗 PD-1 抗体単剤療法を受けられた、20 歳以上の方を対象とします。

2. 研究目的・方法

診療録から臨床情報を抽出し、研究代表施設で集計します。研究期間は研究許可日から 2024 年 3 月 31 日までとなります。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、病歴、抗がん剤治療の一治療歴、有害事象 等

4. 外部への情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院皮膚科学	猪爪隆史
埼玉医大国際医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科	中村泰大
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科	並川健二郎
静岡県立静岡がんセンター 皮膚科	吉川周佐
自治医科大学 皮膚科	前川武雄
新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科	竹之内辰也
信州大学 皮膚科	木庭幸子
群馬大学 皮膚科	安田正人
名古屋市立大学 皮膚科	加藤裕史
大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科	爲政大幾
岡山大学 皮膚科	山崎 修
熊本大学 皮膚科	福島 聡
国立病院機構鹿兒島医療センター 皮膚腫瘍科	松下茂人
札幌医科大学 皮膚科	宇原 久
筑波大学 皮膚科	藤澤康弘

がん・感染症センター都立駒込病院皮膚腫瘍科	吉野公二
九州大学 皮膚科	伊東孝通
京都府立大学 皮膚科	浅井 純
三重大学 皮膚科	北川敬之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科 大江 秀一
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69
電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科 爲政 大幾

研究代表者：

千葉大学大学院医学研究院皮膚科学 猪爪 隆史

-----以上